

## 事例紹介

### 広島県東広島市立 松賀中学校

## 知識の定着にeライブラリ

### ～生徒に合わせて、いろいろな教材を様々な場面で使い分け～

松賀中学校では、英語ではドリル・解説教材・確認問題を利用した文法知識の定着、特別支援学級では、いろいろカード帳を利用した反復学習など、様々な場面でeライブラリを活用しています。

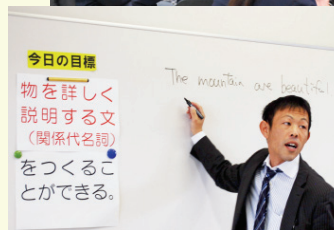
## 授業

### 英語で対話！文法知識の強化も

#### ● ディスカッションと単元の学習

英語の古賀伸司先生は、『生徒に英語で対話する力を身につけさせる』ために、「**ディスカッション⇒単元の学習⇒宿題の答え合わせ⇒ドリルで定着**」という流れで授業を展開しています。

この日の授業は、3年生の「Program8〈関係代名詞〉」の単元をパソコン教室で行いました。授業の7割を英語で進めており、ペアディスカッションの場面では、生徒は自信をもってしっかりと発音で対話をしていました。



▲ 自分に合ったレベルの教材で学習

#### ● 生徒の習熟度にあった教材で定着

単元のまとめは15分間のドリル学習。生徒は自分のレベルに合った教材を選びます。ドリルの問題文をじっくりと読み、**わからない問題は解説教材でポイントを確認しながら解答**しています。問題をすべて解き終わった生徒は、**確認問題の並べ替え問題で自主的に学習**していました。

生徒に自分でレベルを選ばせているのは、「生徒によってつまり箇所は違います。自分のレベルに合ったドリルと解説で苦手を克服してほしい。」という先生の思いが込められています。

#### 英語科 古賀 伸司 先生のお話

本校では、「子どもたちに英語で対話する力を身につけさせる」ことを目的とし50分の授業の中で、30分は生徒が英語で対話する時間を取ることを目指して、授業づくりをしています。英語で対話する力は身につけてきましたが、定期テストや高校入試は文法も重視されます。そこで、文法の知識を強化するためにeライブラリを使い始めました。

授業は平均的な学力層に合わせて進めることが多いです。とはいえ生徒の理解度はそれぞれです。eライブラリを活用することで、**自分で学習を進められる生徒、基礎から段階的に進めたい生徒、各自が自分に合った教材で正答を重ね自信に繋がっています。**生徒は着実に文法の知識が身につけており、学習の効果があらわれています。



## ● 生徒が集中できる雰囲気づくり！

特別支援学級の授業では、谷崎先生が生徒の特性に合った教材を利用しています。今回は1、2年生の地理「おさえておきたい日本の地理」から都道府県名の学習をしました。

まずは、谷崎先生が作成した都道府県地図やご当地グルメ表から地名を当てる問題で復習。興味のある題材を教材にすることで生徒の学習意欲が高まり、視線は常に先生の方へ向いています。前時で覚えた地名を思い出しながら、楽しそうに取り組む姿が印象的でした。



▲ ドリル：小学3年  
「わたしたちの住んでいる県」を学習

## ● 何度も繰り返し問題に取り組める環境

「このクラスの生徒は、覚えることが少し苦手なため、都道府県名や形、地域の特徴を何度も繰り返し学習させたい」と谷崎先生。まずは、わからなかった地域を中心にドリルで学習です。普段からeライブラリを利用しているため、操作につまずくことなく、問題を解くことに集中していました。

谷崎先生は生徒の集中力を持続させる工夫として、「ドリル⇒自作教材⇒ドリル⇒自作教材」というサイクルで授業を進めています。

## ● 生徒の実態に応じた教材を活用

生徒の学習進度に応じて、いろいろカード帳にも取り組ませています。都道府県の形を視覚的に覚えることができるため、着実に地名を答えられるようになっているとのことです。

生徒は、いろいろカード帳に「覚えた！」「わからない」などの記録を残しています。全教材を解いた後「わからない」ところを中心に再度学習していました。



▲ いろいろカード帳で繰り返し学習  
(覚えたかどうかを自分でチェックします)

## 情報担当 谷崎 正和 先生のお話



### ■ eライブラリを使ってみて

担当している特別支援学級では、学習内容を定着させるために、繰り返し何度も取り組ませています。eライブラリの個別学習は、自分の間違いを他者に見られることを気にしなくてよいため、生徒は安心して学習できます。また、自分のペースで意欲的に取り組む姿も多くみられるようにもなりました。生徒自身が試行錯誤しながら学習を深めていけるところも良いですね。

### ■ 今後やってみたいこと

本校は、家庭学習に力を入れており、生徒は教科の宿題とは別に自主学習をしているため、家庭学習の習慣が身についています。今後は、eライブラリの家庭学習サービスを自主学習の教材の一つとして位置づけ、解いた問題をノートにまとめて提出するなどの運用を始めたいと考えています。